

奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催

～損保業界と警察・関係団体との連携の重要性を再認識～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務取締役）では、7月5日（金）に奈良市内で、令和6年度奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など42名の出席がありました。

開会に際し、奈良県損害保険防犯対策連絡協議会の横澤 雄三 会長（東京海上日動火災保険株式会社奈良支店長）から、関係各位のご協力のもと44回目の総会が開催できたことへの謝辞とともに、「交通事故や火災を契機とした保険金詐欺や災害に便乗したリフォーム詐欺、悪質ロードサービス業者の問題など、保険制度を悪用する行為が後を絶たないなか、保険会社の重要な社会的使命を果たすべく、「不当不正請求の排除」、「保険犯罪の防止」に一層の努力を重ねたい。」との挨拶がありました。

当協議会顧問の奈良県警察本部 山野 勝彦 刑事部長からは、県内の治安情勢や交通事故発生件数、さらには暴力団情勢等のお話を交えてご挨拶がありました。

また、ご来賓の挨拶では、公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 北出 秀徳 事務局長から、暴力団は、匿名・流動型犯罪グループを利用、共謀する等、特殊詐欺や強盗等の犯罪を組織的に敢行している例もみられるなど、治安面での新たな恐怖となっている。引き続き暴力団排除条例基本理念のもと、関係各位との連携を密にして暴力団等の排除活動を行いたいとお話があったほか、奈良弁護士会民暴・非弁活動取締委員会の 大寺 健太 委員長からは、反社会的勢力による民事介入暴力や不当要求、非弁活動等により、損害保険の健全な運営を損なうことがないよう、引き続き本協議会を通じた関係団体の連携は極めて重要である旨のお話がありました。

続いて、当協議会の 黒石 幹事（あいおいニッセイ同和損保社）から、令和5年度の活動報告および令和6年度の活動計画提案があり、当協議会の活性化、情報交換の強化、弁護士会との連携強化、医師会との連携強化等に取り組むことが満場一致で承認されました。

その後、当協議会の 油谷 副会長（三井住友海上社）より「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとあらゆる暴力や不正を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が力強く読み上げられ、満場一致で承認されました。

第二部では、奈良県警察本部 生活安全部生活安全企画課 梶 祐吾 犯罪抑止対策室長から「最近の犯罪情勢について」、次いで、同交通部交通指導課 杉澤 克典 課長補佐から「最近の保険金詐欺について」、最後に、同刑事部組織犯罪対策課 城内 和久 課長補佐から「暴力団情勢等について」と題して、それぞれ講演をいただき、知見を広めることができました。

閉会にあたっては、油谷 副会長（三井住友海上社）から「保険制度を悪用した不正請求事犯は年々悪質巧妙化するなど、損保業界を取り巻く情勢は依然として厳しい環境にあるなかで、引き続き関係機関の皆様からのご指導、ご支援をお願いしたい。」との挨拶があり全体を締めくくりました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、警察・関係団体と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。

総会の概要は以下のとおりです。

第44回奈良県損害保険防犯対策連絡協議会総会 式次第

第1部 総会

1. 会長挨拶
2. 顧問・来賓挨拶 奈良県警察本部 刑事部長 山野 勝彦 様
公益財団法人奈良県暴力団追放県民センター 事務局長 北出 秀徳 様
奈良弁護士会 民暴・非弁活動取締委員会 委員長 大寺 健太 様
3. 令和5年度活動報告・令和6年度活動計画（案）提案
4. 決議文採択
5. その他

第2部 講演会

「最近の犯罪情勢について」

講師 奈良県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室長 梶 祐吾 様

「最近の保険金詐欺について」

講師 奈良県警察本部 交通部 交通指導課 課長補佐 杉澤 克典 様

「暴力団情勢等について」

講師 奈良県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課 課長補佐 城内 和久 様

閉会挨拶



司会の小柳幹事（損保ジャパン社）



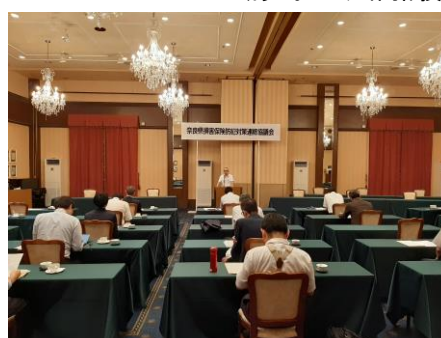
開会挨拶をする横澤会長（東京海上日動社）



活動報告を行う黒石幹事
（あいおいニッセイ同和損保社）



決議文を読み上げる油谷副会長
（三井住友海上社）



会場の様子